

ごみはどうやったら減るんだろう

■プログラムの概要

ねらい	学校や家庭において出されるごみの現状や処分の方法について調べ、廃棄物とは何か、またその発生源について学び、廃棄物問題の解決のための行動を考えさせる。		
キーワード	ごみ・資源		
対象	小学3年～中学3年		
時間	90分～120分	実施場所	教室、家庭
使用するもの	ワークシート、厚紙、企業の環境報告書など		
全体の流れ	A. 家庭ごみや資源の調査(小学生向け) 1. 導入・グループ編成 2. 家庭ごみや資源の計測方法を考える 3. 家庭ごみや資源の量の記録 4. 結果のまとめ 5. 話し合い 6. 発表	B. 家庭ごみや資源の割合(中学生向け) 1. 導入 2. 家庭ごみや資源のリストアップ 3. 家庭ごみや資源が発生する過程・行動を考える 4. 3Rの検討・話し合い 5. 発表	

■進め方

A. 家庭ごみや資源の調査（小学生向け）

時間	学習内容	指導上の留意点
20分	<p><導入・グループ編成></p> <p>家庭から出るごみや資源の割合や、その中身などデータなどを使って説明。</p> <p>クラスを5人程度のグループに分ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 関連する資料は、「参考情報」参照
25分	<p><家庭ごみや資源の計測方法を考える></p> <p>家庭ごみや資源の種類ごとに量を計測する簡単な方法を考える。計測を担当するごみや資源の種類を分担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資源：新聞紙、雑誌、段ボール、びん、缶、ペットボトル、プラスチック類 • 可燃ごみ：生ごみ、紙類、その他 • 不燃ごみ：金属類、ガラス類、その他 	<ul style="list-style-type: none"> • ごみや資源の種類によって異なる方法が望ましい場合もある（例：食物廃棄物は重量、新聞紙は積み上げた高さを測るなど）。 • ワークシート「ごみの測り方を考えよう」参照。
（家庭で1週間調査）	<p><家庭ごみや資源の量の記録></p> <p>グループ内で手分けして、家庭から出るごみや資源の量を1週間、記録する。</p> <p>※この学習を行う前に、家庭から出るごみや資源の排出実態を見ておくよう、児童に話をしておくとうい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 記録を簡単にする方法として、ごみ袋『一袋』単位としてもよい • ワークシート「ごみの量を記録しよう」参照。
15分	<p><結果のまとめ></p> <p>各自が担当したごみや資源の量をグループごとにまとめ、ワークシートに記録する。</p> <p>調査したごみの中で主なものは何だったか（例：調理くず、レジ袋、プラスチック容器など）。また、グループの中でどんなごみや資源が出ていたか。その理由はなぜか。などをまとめる。</p> <p>ごみや資源の量について、他のグループと比較し、どの種類が多かったか、少なかったか、その理由は何かをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 各家庭の記録を統計用紙にまとめる。項目ごとに集計する。 • ワークシート「ごみの量を記録しよう」参照。
20分	<p><話し合い></p> <p>ごみの量を削減するには、どうすればいいかをグループで話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート「ごみの減らし方を考えよう」参照。
10分	<p><発表></p> <p>話し合った内容について発表する。</p> <p>これまでの生活を振り返り、今後どのようにしたいか、「私は、これまで〇〇〇〇していた。でも、今後は△△△する」という形式で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシート「ごみの減らし方を考えよう」参照。

B. 家庭ごみや資源の割合（中学生向け）

時間	学習内容	指導上の留意点
20分	<p><導入></p> <p>家庭から出るごみや資源の割合について、データを使って説明する。</p> <p>また、学校や商店、飲食店、病院、会社、工場から発生するごみや資源の割合、その中身などについても説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所や工場から発生するごみや資源の種類、割合などは、企業が発行している環境報告書などを参考にするとよい。
25分	<p><家庭ごみや資源のリストアップ></p> <p>各自で、家庭から出るごみや資源をリストアップする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源：新聞紙、雑誌、段ボール、びん、缶、ペットボトル、プラスチック類 可燃ごみ：生ごみ、紙類、その他 不燃ごみ：金属類、ガラス類、その他 など 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート「ごみや資源の中身を考えよう」参照。 発展的な学習として、自分や家族が家庭以外の場所でごみを発生させる行動について考えてみてよい。
25分	<p><家庭ごみや資源が発生する過程・行動を考える></p> <p>リストアップしたごみや資源がどのように発生するか、その過程や行動を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート「ごみや資源の中身を考えよう」参照。
30分	<p><3Rの検討・話し合い></p> <p>リストアップしたごみや資源について、減量または発生を防ぐことができるもの、再利用できるもの、リサイクルできるものを識別する。</p> <p>全てのごみや資源を3Rの項目別に分け、3つのRの中でどれが一番多いか、その理由はなにか、3Rのどれにも該当しないものはどうしたらよいかについて考える。</p> <p>各自で考えた3Rの方策について、グループ等で話し合ってみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート「ごみや資源の中身を考えよう」参照。
20分	<p><発表></p> <p>話し合っまとめたことを発表する。</p>	



■使用するもの

A：家庭ごみや資源の調査

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	1人1セット	「ごみの測り方を考えよう」、 「ごみの量を記録しよう」、「ご みの減らし方を考えよう」で 1 セット

B：家庭ごみや資源の割合

物 品 名	数 量	備 考
ワークシート	1人1枚	「ごみや資源の中身を考えよ う」
工場、企業等の環境報告書など	適宜	家庭以外はどうなっているの か、発展させる時にあるとよい

■実施にあたって留意する点

- ・ふりかえり、自分の気づき、発見、考えたこと、調べたいこと、自分自身又は家庭の行動の変化など、自己評価をしてもよい。
- ・この学習を行う前に、家庭から出るごみや資源の排出実態を見ておくよう、児童に話をしておく
とよい。